



エクシード茅ヶ崎 防災活動ニュース

発行NO 第3号
発行日 2017年9月24日
発行 エクシード茅ヶ崎
防災対策委員会
編集者 市場 祐輔

17年総合防災訓練「秋」実施

全戸対象の津波避難訓練 上層階への避難 約70名が参加

2017年防災活動計画に基づき、2回目(前回1月29日実施)の防災訓練を9月9日(日)11時から当マンション全戸対象に実施しました。

今回は、従来から実施している津波避難訓練(上層階への避難)と新たに災害救助用炊飯袋(ハイゼックス包装食)を使った炊き出し訓練及び避難行動要支援者(モデル)を車椅子を使って、防災隊4名で上層階へ避難させる訓練を実施しました。11時に津波発生、上層階へ避難するよう放送開始、1階～4階の住民は「黄色いタオル」を玄関前の手すりに結んで上層階に、5階以上の住民は「黄色タオルを結んで」開放廊下に待機、自主防災委員は各階の住民に上層階へ避難の呼びかけ、各階の状況無線を使って防災本部(2階集会所)へ連絡、防災本部では各階担当の自主防災委員からの避難状況の連絡を受け、確認・フォローを実施した。(避難所要時間は津波発生放送後、約13分で上層階への避難が完了)

炊飯袋によるご飯炊き出しについては、事前に炊飯袋を配布し、各自、米と水を袋に適量を入れ輪ゴムで縛った状態で当日10時までに玄関ロビーにお持ち戴き、防災用の大なべで約30分程度煮て完成、その後、避難訓練終了後に避難者は2階ロビーにて各自へ配布しました。その後、鈴木防災リーダーによる火災、地震、津波災害時の避難活動マニュアル(案)の説明を行いました。また、当日、見学に来られた茅ヶ崎市防災対策課の大竹課長より、防災訓練の感想、アドバイスを頂きました。



訓練前の事前説明



各階の自主防災隊との無線連絡



上層階への避難風景



炊飯袋を使った炊き出し



炊き終わった炊飯袋を配布



防災対策課大竹課長からの講話



避難訓練に参加された方々

避難誘導訓練 要支援者を車椅子で上層階へ

「茅ヶ崎市避難行動要支援」に基づき、当マンションの避難行動要支援対象者(仮)を上層階へ避難させる訓練を実施しました。

1階担当の自主防災委員から本部へ無線にて、要支援者からの避難要請の連絡があり、本部より防災隊4名が車椅子を用意し現地へ向かい、要支援者を車椅子に乗せて1段ずつ声を掛け合い上層階(5階)へ避難させました。5階までの避難所要時間は要支援の連絡を受けてから約11分で上層階へ避難完了 当マンションの外階段は幅が狭く、担架が使用できなく、又、要支援者をおんぶして上げるのも階段の段差が大きい為、今回は車椅子を使って4人で搬送しましたが、無事搬送ができました。



防災隊4名で搬送



搬送に利用した車椅子



階段の幅狭く搬送が大変



1段ずつ声をかけ上層階へ避難



曲がり方が難しい



防災対策課の大竹課長も見学

エクシード茅ヶ崎「防災委員会」は、毎月「防災対策会議」を開催し、防災訓練や防災備品等の購入・管理等について、討議・実施を行っています。